

平成 27 年度  
**横濱 A O 入試**  
学生募集要項

横浜国立大学理工学部

平成 26 年 7 月

# 目次

横濱A〇入試日程の概要	1
横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
建築都市・環境系学科の概要及び 各教育プログラムの特徴・授与学位	4
1. 理工学部横濱A〇入試とは	5
2. 募集学科・教育プログラム、募集人員	5
3. 出願資格	6
4. 出願手続	7
5. 入学検定料	7
6. 出願書類等	8
7. 選抜日程及び試験場	10
8. 合格発表	10
9. 入学者選抜方法及び選抜のポリシー	11
10. 入学手続	15
11. 不合格となった場合に備えて	15
12. 障害等のある入学志願者の事前相談について	16
13. 注意事項	17
14. 本学における個別の入学資格審査について	17
15. 個人情報の取り扱いについて	18
交通案内図	
キャンパス案内図	

## <添付書類>

この要項には、下記の本学所定の書類等が添付されています。

- 出願書類等送付内訳書
- 志願票
- 受験票、写真票
- 自己推薦書（4枚）
- 履修見込証明書
- 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
- 入学検定料払込取扱票（検定料 17,000 円）
- 返信用封筒（速達長形 3 号）3 通
- 住所・氏名記入用紙（シール）
- 出願書類送付用封筒（書留速達角形 2 号）

## ※新、旧教育課程履修者(数学・理科)について

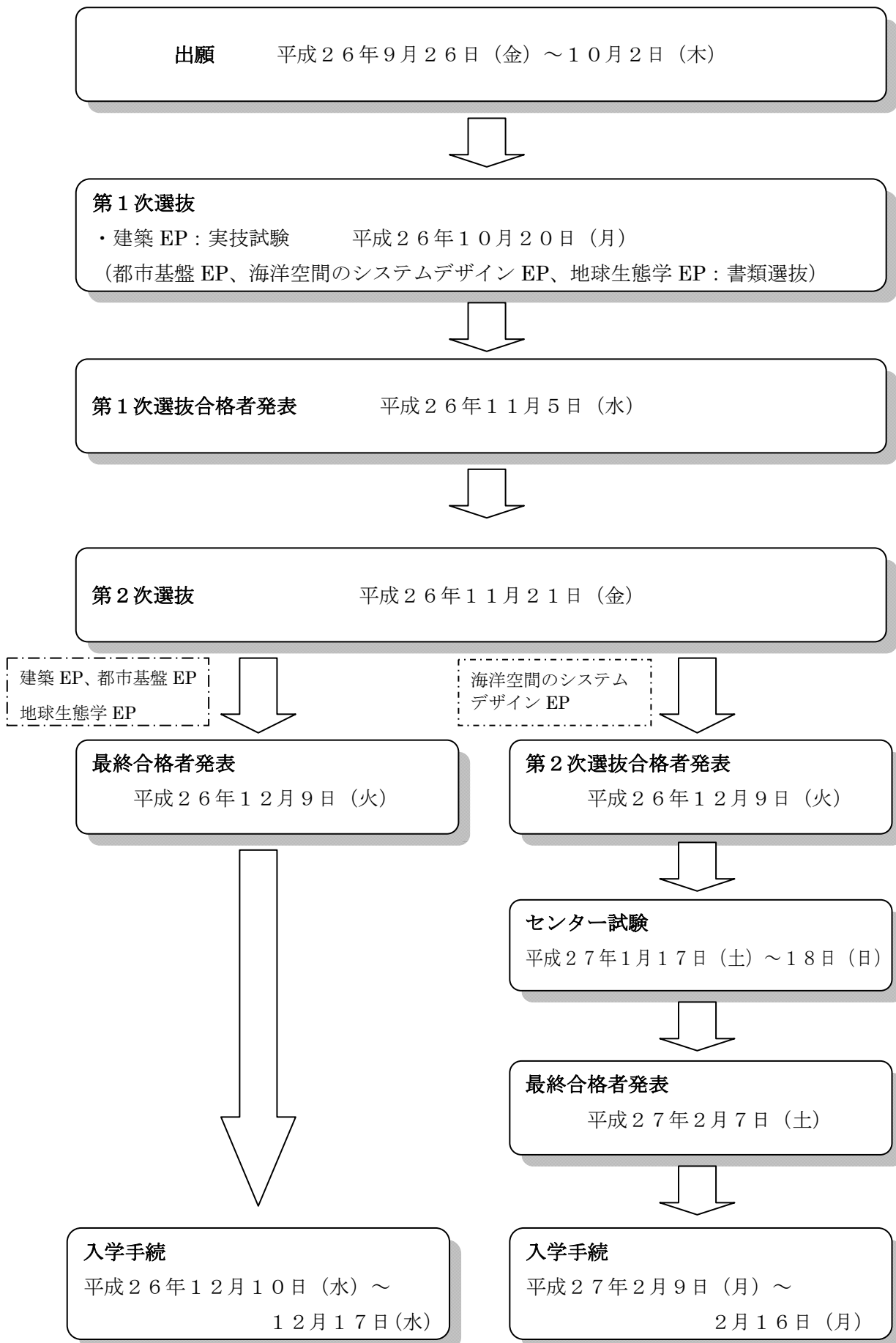
・新教育課程履修者…

①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に平成24年4月に入学し、平成27年3月卒業見込みの者

②中等教育学校の後期課程に平成24年4月に進級し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成27年3月卒業見込みの者

・旧教育課程履修者…上記以外の者

## ●横濱A〇入試日程の概要



# ●横浜国立大学入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

——横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます——

## ■ 真の実力を得たい!

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

## ■ 洞察力を磨きたい!

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

## ■ 世界の舞台で活躍したい!

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

## ■ 高度な専門知識で社会に貢献したい!

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

## 【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神—実践性・先進性・開放性・国際性—を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

※本学の詳細な教育目標・方針については、本学 WEB サイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

## ●理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

- 自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
- 何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
- 新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
- 胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
- 我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

### [理工学部の教育目標]

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

## ●学科及び各教育プログラムの入学者受入方針

### ◎建築都市・環境系学科

建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

#### <建築教育プログラム>

- ・ 建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人
- ・ 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・ 自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・ 都市の歴史的変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

#### <都市基盤教育プログラム>

- ・ 自然環境との調和や共生など地球的観点にたってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・ シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・ 発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

### <海洋空間のシステムデザイン教育プログラム>

- ・ 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- ・ 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資の流れを作り、世界を一つにすることを目指したい人

### <地球生態学教育プログラム>

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

- ・ 科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人
- ・ 研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

## ●建築都市・環境系学科の概要及び各教育プログラムの特徴・授与学位

建築都市・環境系学科では、人間の生活空間、活動空間の創造性、安全性、快適性、機能性を高めるための空間づくりや空間利用、宇宙までも含む空間の中での安全で快適な移動など、地域の生態系や自然環境を大切にしながら実現していくための知的体系と理論や技術についての教育を行います。

### ● **建築教育プログラム** 【授与学位：学士（工学）】

建築という広範な学問領域を、建築理論、都市環境、構造工学、建築デザインという4つの分野によってバランスよく教育します。芸術的、機能的、創造的かつ災害に強い快適な建築と都市をデザインする能力を身につけ、人々が生きるに相応しい街や社会を形成していくことに貢献できる人材を養成します。

### ● **都市基盤教育プログラム** 【授与学位：学士（工学）】

「創造都市・横浜」を教育基盤とし、人口が集中する都市において社会生活をより豊かにする社会基盤の整備、維持管理、運用や都市と地方のバランスに留意して、より良い国土の創造と環境との共生に関する実践的な教育を行います。

### ● **海洋空間のシステムデザイン教育プログラム** 【授与学位：学士（工学）】

船舶海洋工学と航空宇宙工学からなるカリキュラムにより、海洋から大気圏さらに宇宙空間で活躍する人工物を、安全と環境に配慮して計画・建造・運用するための知識や技術を学習できます。また、個々の要素技術の修得だけでなく、その多様な基礎技術が結集する複雑で巨大な構造体をスマートにまとめる、いわゆるマクロエンジニアリングの能力を修得できます。

### ● **地球生態学教育プログラム** 【授与学位：学士（理学）】

人間を含む生態系とそれを取り巻く地球の環境に関する科学を学び、またその評価や設計・管理を学ぶことで、自然を含めた総合的な地域計画や、人間による維持管理を含めた自然管理計画を立案できる人材を養成します。生態系の管理方法は研究途上のため、基礎科学を学んで新しい応用を発展させ得る人材を養成します。

# 平成 27 年度 横浜国立大学工学部 横濱 A O 入試学生募集要項

## 1. 理工学部横濱 A O 入試とは

横浜国立大学では、理工学部で学び研究する事を強く望む人に対して門戸を広げるため、従来型の筆記試験を課さない、A O (Admission Office) 入試を実施します。

この A O 入試は自己推薦で志願することができます。また現役生だけではなく、高等学校等を既に卒業した人も志願することができます。

A O 入試では書類選考や面接、実技を通して、関心の深さ、意欲の強さ、志望教育プログラム (E P) への適性等の点から、多面的に、より人物本位の選抜がなされます。また従来型の筆記試験では測り得なかった点、すなわち本学理工学部を志望する理由、入学後何がやりたいのか、そのためにどんなことを準備してきたのか等が問われます。

まずは、あなたが志望する教育プログラムの「選抜のポリシー」を読んでみてください。そしてそのポリシーに自分があてはまると思ったなら、是非チャレンジしてください。

## 2. 募集学科・教育プログラム、募集人員

学 科	教育プログラム	募集人員
建築都市・環境系学科	建築教育プログラム	7 名
	都市基盤教育プログラム	7 名
	海洋空間のシステムデザイン教育プログラム	10 名
	地球生態学教育プログラム	若干名

[注] 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

### 3. 出願資格

次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

#### 【基礎資格】

次の（１）～（４）のいずれかに該当する者

- （１） 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 27 年 3 月までに卒業見込みの者
- （２） 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 27 年 3 月までに修了見込みの者
- （３） 学校教育法施行規則第 150 条第 1 号から第 5 号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成 27 年 3 月 31 日までにこれらに該当する見込みの者  
これらに該当する者とは、次のとおり  
ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月修了見込みの者  
又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの  
イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 27 年 3 月修了見込みの者  
ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 27 年 3 月修了見込みの者  
エ. 文部科学大臣の指定した者  
オ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 27 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- （４） 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したものと及び平成 27 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

[注] 『【基礎資格】（４）』により出願する者は 17 ページを参照してください。

#### 【要件】

志望する教育プログラムが定める要件をすべて満たす者

##### （１）建築教育プログラム志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② **【新教育課程履修者】**…高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの全てを履修した者及び履修見込みの者  
**【旧教育課程履修者】**…高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの全てを履修した者及び履修見込みの者  
※ただし、上記に相当する科目を履修した者及び履修見込みの者は次ページ 4.（３）を参照してください。

※なお、履修見込みの場合は学校長または担当教諭の証明書（本学様式）を添付すること。

##### （２）都市基盤教育プログラム志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者

##### （３）海洋空間のシステムデザイン教育プログラム志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② 平成 27 年度大学入試センター試験において学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者

##### （４）地球生態学教育プログラム志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者



## 4. 出願手続

### (1) 出願方法

出願書類を取り揃え、本学所定の出願書類用封筒を使用して書留速達で郵送してください。  
受付は郵送に限ります。

### (2) 出願期間

平成 26 年 9 月 26 日（金）から平成 26 年 10 月 2 日（木）まで必着

[注] 上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔10 月 2 日（木）〕を過ぎて到着した出願書類のうち、【10 月 1 日（水）の発信局消印のある書留速達郵便】に限り受理します。

### (3) 建築教育プログラム志願者の出願要件（数学の履修要件）の確認について

建築教育プログラムで指定している履修科目（前ページ【要件】（1）②参照）に相当する科目にて出願する場合は、該当する科目について履修内容の確認をします。出願前（出願期間開始日の 1 週間前までに必着）に理工学系大学院等入試係へ照会してください。

履修内容の確認では、成績証明書（科目を修得したことを証明する書類）及び学校等で発行するシラバス（修得した科目の履修内容が記載されたもの）等の書類が必要ですので、予め用意してください。

事前の照会もなく出願した場合、履修要件の確認が出来ないために、出願を受理しないことがありますので注意してください。

## 5. 入学検定料

### (1) 入学検定料の払い込みについて

- ① 払込金額 17,000 円
- ② 払込期間 出願期間に間に合うように払い込んでください。
- ③ 払込場所 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（A T Mは使用不可）
- ④ 払込方法
  - ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。（志願票の氏名と照合します。）
  - イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。
  - ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

### (2) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- ① 入学検定料の返還請求ができるもの
  - ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部横濱A O入試に出願しなかった場合
  - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
  - ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合
  - エ. 第 1 次選抜（建築教育プログラムを除く）で不合格になった場合
- ② 返還する検定料の金額  
志願者の申し出により上記「①ア、イ、ウ」については 17,000 円を、「①エ」については 13,000 円を返還します。

### ③ 返還請求の方法

#### <上記「①ア、イ」に該当する場合>

理工学系大学院等入試係に連絡してください。連絡があった後に「検定料返還請求書」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

#### <上記「①ウ」に該当する場合>

出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

#### <上記「①エ」に該当する場合>

第1次選抜結果通知の際に該当者に通知をします。

## 6. 出願書類等

提出書類等	摘 要
(1) 志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2) 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、受験票・写真票の所定欄に写真を貼り付けてください。 写真は、縦4cm×横3cmで出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで同一の写真を使用してください。
(3) 調査書等	ア. 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び平成27年3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し厳封したもの ただし、外国の学校より日本の高等学校等に編入学をした者は、在籍した外国学校（高等学校相当）の成績証明書も併せて提出してください。 イ. 外国において学校教育における12年の課程を修了（見込みを含む）した者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書 ただし、日本の高等学校等に在籍した期間がある場合は、日本の出身学校長の作成した調査書も併せて提出してください。 ウ. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書、高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、合格見込成績証明書 なお、試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定合格証明書等）を併せて提出してください。 エ. 上記いずれにも該当しない者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書
(4) 自己推薦書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 自己推薦書の作成要領は、志望する教育プログラムごとに異なりますので、11～14ページの各教育プログラムの選抜方法を参照してください。
(5) 履修見込証明書 ※該当者のみ提出	<b>建築教育プログラム志願者</b> のうち、6ページ「3. 出願資格」で教育プログラムが指定する科目が履修見込みである者は学校長または担当教諭の証明書（本学様式）を提出してください。

<p>(6) 入学検定料</p> <p>注：本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は <a href="http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html">http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html</a> を確認してください。</p>	<p>払込金額 17,000 円 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口で手続をしてください。 払込後、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付用紙の貼付欄に貼付して出願書類と同封してください。 (※払込の方法については、7 ページ「5. 入学検定料」を参照してください。)</p>
<p>(7) 返信用封筒 2 通又は 3 通</p>	<p>※【建築、都市基盤、地球生態学教育プログラム志願者】…2 通 ※【海洋空間のシステムデザイン教育プログラム志願者】…3 通 本学所定の返信用封筒（長形 3 号）にそれぞれ <b>372 円</b> 切手を貼り付けてください。（速達用） 受験票及び合否通知を発送する際に使用しますので、志願者本人の住所・氏名を記入してください。（住所は日本国内に限ります。）</p>
<p>(8) 住所・氏名記入用紙 (シール)</p>	<p>入学手続書類を発送する際に使用するので、正確に記入してください。 (住所は日本国内に限ります。)</p>
<p>(9) 入学資格認定証明書 ※該当者のみ提出</p>	<p>6 ページ「3. 出願資格【基礎資格】(4)」により出願する場合は提出してください。</p>
<p>(10) 平成 27 年度センター試験 成績請求票 ※該当者のみ必要</p>	<p><b>海洋空間のシステムデザイン教育プログラム志願者の第 2 次選抜合格者は、平成 27 年度センター試験成績請求票の「<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">AO</span>国公立AO入試用」が必要となりますので、<u>提出の指示があるまでは大切に保管してください。</u></b></p>

[注 1] 外国の学校又は機関が発行した英語以外の外国文の書類については、その和訳文を作成し、これに日本国在外公館の証明（翻訳者の署名証明）又は我が国の公証人の公証（翻訳者の署名認証）を受け、併せて提出してください。

[注 2] 指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位修得証明書等を調査書に代えて提出してください。これらの証明書等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。

**出願書類を受理した者に対して、10月9日（木）頃に「受験票」を郵送します。10月16日（木）までに届かない場合は、理工学系大学院等入試係まで連絡してください。**

## 7. 選抜日程及び試験場

### (1) 第1次選抜

#### <建築教育プログラム以外>

出願書類による書類選抜を行います。

#### <建築教育プログラム>

出願書類による書類審査に加え、実技試験を行います。

①実技試験日：平成26年10月20日（月）

②試験時間：（午前）9時30分から11時30分、（午後）13時00分から15時30分

③試験場：横浜国立大学理工学部（横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5）

※ 試験当日の詳細（集合時間・集合場所等）については、受験票をお送りする際に通知します。

### (2) 第2次選抜

#### <全教育プログラム>

①試験日：平成26年11月21日（金）

②試験場：横浜国立大学理工学部（横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5）

※ 試験当日の詳細（集合時間・集合場所等）については、第1次選抜合格者に対して通知します。

## 8. 合格発表

### (1) 第1次選抜合格者発表

平成26年11月5日（水）13時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、志願者全員に郵便にて合否を通知します。

### (2) 第2次選抜合格者発表

海洋空間のシステムデザイン教育プログラムについては平成26年12月9日（火）13時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、第2次選抜合格者のみに郵便にて合格を通知します。

海洋空間のシステムデザイン教育プログラムは、第2次選抜合格者の中から平成27年度大学入試センター試験の成績を考慮して、最終合格者を決定します。その際、「平成27年度センター試験成績請求票<sup>AO</sup>国公立AO入試用」が必要となりますので、指示に従って指定した期日までに提出してください。  
なお、提出がない場合及び指定した科目を受験しなかった場合は、合格の対象となりません。

### (3) 最終合格者発表

建築、都市基盤及び地球生態学教育プログラムについては平成26年12月9日（火）13時頃、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムについては平成27年2月7日（土）13時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、最終合格者のみへ合格通知書と入学手続書類を郵送します。

※合格者発表用ホームページ（URL <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>）

※ホームページでの掲載期間は、各合格発表日から概ね4日間程度とします。

※携帯電話には対応していません。

## 9. 入学者選抜方法及び選抜のポリシー

<b>建築 教育プログラム</b>	<b>選抜のポリシー</b>
	<p>創造力と独創力をもち、自分の頭脳と手を動かし、思考したことを表現できる能力を持つ人を評価し、人間が誰でも本来持っている、空間に対する感受性を考査します。</p>
	<b>選抜方法</b>
	<p><b>【第1次選抜】</b></p> <p>書類審査及び実技試験とします。 以下により、建築教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 自己推薦書（本学様式） 建築教育プログラムに対する熱意を 1,000 字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。</p> <p>(2) 調査書等 建築教育プログラムへの適性を判断するために使用します。</p> <p>(3) 実技試験 自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験（造形に関する思考力・表現力の検査）を課します。 建築教育プログラムホームページに、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。 (URL <a href="http://www.arc.ynu.ac.jp/image/qa.pdf">http://www.arc.ynu.ac.jp/image/qa.pdf</a>)</p> <p><b>【第2次選抜】</b></p> <p>第1次選抜合格者に対して、面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査）を課します。</p> <p><b>【最終合格者決定】</b></p> <p>第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>

<b>都市基盤 教育プログラム</b>	<b>選抜のポリシー</b>
	<p>美しい国土と安全・安心・快適な都市をつくりたい意思が明確であり、それを実現するエンジニアとして活躍するために必要な理数基礎学力を有することを重視します。</p>
	<b>選抜方法</b>
	<p><b>【第1次選抜】</b></p> <p>書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <p><b>(1) 自己推薦書 (本学様式)</b>  都市基盤教育プログラムに対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。  ☒を入れても結構ですが字数に含みません。文字・☒は手書きが条件です。</p> <p>① 都市基盤教育プログラムを志望する理由  (自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください。) ……400字程度</p> <p>② 都市基盤教育プログラムを卒業した後の自分の姿……………200字程度</p> <p>③ 自分の特徴 (良い点、悪い点) ………………200字程度</p> <p>④ いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど……………200字程度</p> <p><b>(2) 調査書等</b>  都市基盤教育プログラムへの適性を判断するために使用します。</p> <p><b>【第2次選抜】</b></p> <p>第1次選抜合格者に対して、記述式の評価シートを参考にした口頭試問による学力・適性検査を課します。評価シートは、口頭試問に先立って記述し、自己プロフィール、数学、物理に関連する基本的な設問に対して回答するものです。</p> <p>口頭試問では主に、志望動機等に関する質疑、数学・物理及びそれらに関連する総合的な能力の検査、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行います。ここで数学とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの全範囲 (旧教育課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B (「数列」及び「ベクトル」)、数学C (「行列とその応用」及び「式と曲線」) の全範囲)、物理とは、物理基礎、物理 (旧教育課程履修者は物理Ⅰ、物理Ⅱ) の全範囲を含みます。</p> <p>学力・適性検査の詳細は、第1次選抜の合格通知に同封します。</p> <p><b>【最終合格者決定】</b></p> <p>第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。</p> <p><b>なお、大学入試センター試験は課しません。</b></p>

<b>海洋空間の システムデザイン 教育プログラム</b>	<b>選抜のポリシー</b>
	船舶・航空機をはじめ海洋・空・宇宙の航行に対する幅広い興味を有すること、課題解決に対する意欲とそれに必要な理数基礎学力を有することを重視します。
	<b>選抜方法</b>
	<b>【第1次選抜】</b> 書類選抜とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。
	<b>(1) 自己推薦書（本学様式）</b> 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。
	<b>(2) 調査書等</b> 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。
	<b>【第2次選抜】</b> 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験〔口頭試問による学力検査（数学・物理及びそれらに関連する総合的な能力の検査）〕を課します。 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムホームページに、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。 (URL <a href="http://www.shp.ynu.ac.jp/files/AO_Info.pdf">http://www.shp.ynu.ac.jp/files/AO_Info.pdf</a> )
	<b>【最終合格者決定】</b> 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入試センター試験の教科・科目を課し、センター試験の結果により、最終合格者を決定します。
	<b>(1) 大学入試センター試験の教科・科目【3教科4科目】</b> 国語：(国語) 数学：(数学Ⅰ・数学A(注1)) 及び (数学Ⅱ・数学B(注2)、工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎から1) ※1 外国語：(英語) ※2
	<b>※旧教育課程履修者の数学の受験科目について</b> <b>(注1)</b> 上記の科目以外に「旧数学Ⅰ・旧数学A」を選択することができます。 <b>(注2)</b> 上記の科目以外に「旧数学Ⅱ・旧数学B」を選択することができます。

※1 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（情報A・B・C等）を履修した者は該当しません。

※2 英語については、「リスニングテスト」を含みます。  
 英語の配点は、筆記試験 200 点満点とリスニングテスト 50 点満点の合計 250 点満点を以下のとおり 200 点満点に換算します。  
 $200 \text{ 点満点 (筆記試験 200 + リスニングテスト 50)} \times 0.8$

**(2) 大学入試センター試験の配点**

教科名	国語	数学	外国語	配点合計
配点	200	200	200	600

地球生態学 教育プログラム	<b>選抜のポリシー</b>
	地球や生態系に対する幅広い興味を有し、科学的センスに優れている方を求めます。個人あるいは部活動などで研究活動に熱心に取り組んでいる方、学問を極めたいという強い意欲を持つ方を歓迎します。
	<b>選抜方法</b>
	<p><b>【第1次選抜】</b></p> <p>書類選抜とします。以下の書類により、地球生態学教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 自己推薦書（本学様式） 地球生態学教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。</p> <p>(2) 調査書等 地球生態学教育プログラムへの適性を判断するために使用します。</p> <p><b>【第2次選抜】</b></p> <p>第1次選抜合格者に対して、適性及び能力を判断するために、実際の研究材料や資料などを調べ、結果をまとめて発表する実習（自然や環境への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査）を課します。 地球生態学教育プログラムホームページに、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。 (URL <a href="http://ecosystem.ynu.ac.jp/AO.htm">http://ecosystem.ynu.ac.jp/AO.htm</a>)</p> <p><b>【最終合格者決定】</b></p> <p>第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。</p> <p><b>なお大学入試センター試験は課しません。</b></p>



## 10. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送（書留速達）により以下の期間内（必着）に入学手続を行ってください。なお、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続を認めません。

学 科	教育プログラム	入学手続期間
建築都市・環境系学科	建築教育プログラム 都市基盤教育プログラム 地球生態学教育プログラム	平成 26 年 12 月 10 日（水）～ 12 月 17 日（水）〔17 時必着〕
	海洋空間のシステムデザイン 教育プログラム	平成 27 年 2 月 9 日（月）～ 2 月 16 日（月）〔17 時必着〕

- (1) 合格者には、合格通知書とともに入学手続書類等を郵送します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認してください。

### 【入学手続に必要な費用】

入学科 282,000 円〔現行〕

### 【入学後に必要な費用】

授業料 半期分 267,900 円〔現行〕

(年額) 535,800 円〔現行〕

〔注1〕 入学科及び授業料は、改定される場合があります。

〔注2〕 入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、入学科は返還できません。

〔注3〕 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

- (2) 入学手続には、「大学入試センター試験受験票」（海洋空間のシステムデザイン教育プログラム入学者のみ）が必要です。
- (3) 横濱AO入試による合格者が特別の事情により入学を辞退しようとするときは、平成 27 年 2 月 18 日（水）までに「入学辞退願」（本学所定の用紙に辞退の理由を明記し、本人及び保護者が署名・捺印したもの）を提出し、入学辞退の許可を得ることが必要です。「入学辞退願」の様式は、理工学系大学院等入試係に請求してください。
- (4) 横濱AO入試による合格者が入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の一般入試を受験しても合格者とはなりません。また、(3)による入学辞退を許可された場合を除き、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
- (5) 入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないままとすることのないように注意してください。

## 11. 不合格となった場合に備えて

横濱AO入試志願者は、不合格となった場合に備えて、「前期日程」及び「後期日程」の合計2つの大学・学部にも出願することができます。なお、その際は大学入試センター試験の指定教科・科目の受験等、志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

## 12. 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず以下連絡先に事前に相談してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者についても、受験及び修学上で特別な配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

### 【申請方法及び連絡先】

- (1) 申請は、様式例を参考に申請書を作成し、診断書または身体障害者手帳（写）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5  
横浜国立大学理工学系大学院等入試係  
電話番号 045-339-3821/3822

### 【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A 4 判縦	平成 年 月 日
横浜国立大学長 殿	氏名（ふりがな） 生年月日 住所〒 電話番号
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 志望する学部・学科・教育プログラム・出願する入試名</li> <li>2. 障害等の種類、程度</li> <li>3. 受験に際して配慮を希望する事項</li> <li>4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項</li> <li>5. その他</li> </ol>	
(添付書類) 診断書または身体障害者手帳（写）、その他参考資料	

### 1 3. 注意事項

- (1) 出願時に入学を志望する教育プログラムを決めてください。志望できる教育プログラムは1つに限ります。
- (2) 出願後の書類内容の変更は認めません。
- (3) 出願にあたっては、提出書類に不備のないよう十分に注意してください。出願書類等に不備がある場合は受理できません。なお、提出された出願書類等は一切返却しません。
- (4) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。
- (5) 理工学部横濱AO入試についての不明な点は、理工学系大学院等入試係に照会してください。

### 1 4. 本学における個別の入学資格審査について

6 ページ「3. 出願資格【基礎資格】(4)」により出願しようとする者は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けている必要があります。

この個別審査を希望する者は、本学入試課に返信用封筒（長形3号、92円切手貼付）を同封のうえ、入学資格認定申請書（本学所定様式）を請求してください。

#### (1) 審査要件【①～③いずれにも該当することが必要です。】

- ①専修学校、各種学校その他の教育施設（学校教育法第1条に掲げるものを除く。）において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位（2,590単位時間）相当以上【平成11年度以前の入学者にあつては80単位（2,800単位時間）相当以上。単位（単位時間）については、高等学校学習指導要領による。】修得している者又は平成27年3月修得見込みの者。
- ②前号の単位（単位時間）には、おおむね国語（相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。）、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位（単位時間）を含んでいること。
- ③18歳に達した者又は平成27年3月31日までに18歳に達する者。

#### (2) 申請期間

郵送受付：平成26年8月4日（月）～平成26年8月22日（金）【必着。書留速達に限る。】  
窓口受付：平成26年8月21日（木）～平成26年8月22日（金）【8:30～17:00】

#### (3) 提出書類

- ①入学資格認定申請書（本学所定様式）
- ②調査書（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。）又は、最終出身学校等の卒業（見込）証明書及び成績証明書
- ③出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- ④返信用封筒（長形3号、申請者宛先を明記し、682円分の切手を貼付）

#### (4) 個別の入学資格審査に関する問合せ先、提出先

横浜国立大学 学務・国際部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 (TEL: 045-339-3121)

## 15. 個人情報の取り扱いについて

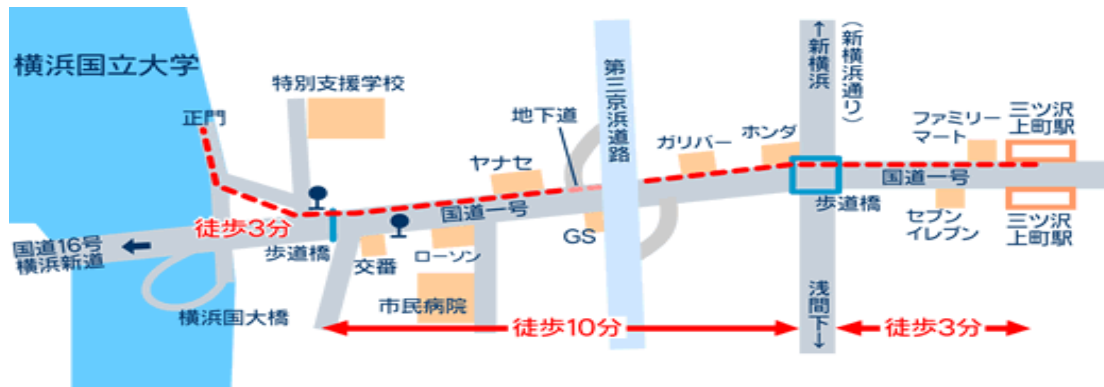
個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付）、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。  
調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。  
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (3) 上記（1）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。  
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

# 交通案内図

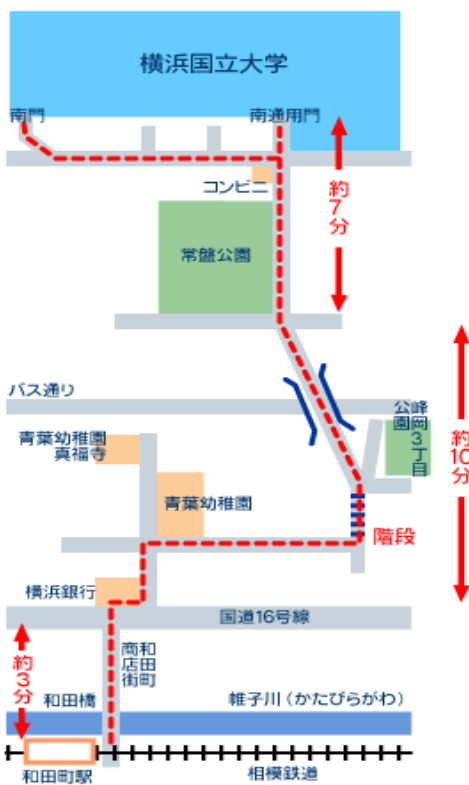
## ①横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側2番出口） → 正門へ



## ②：相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



## ③：バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所（平日のみ）

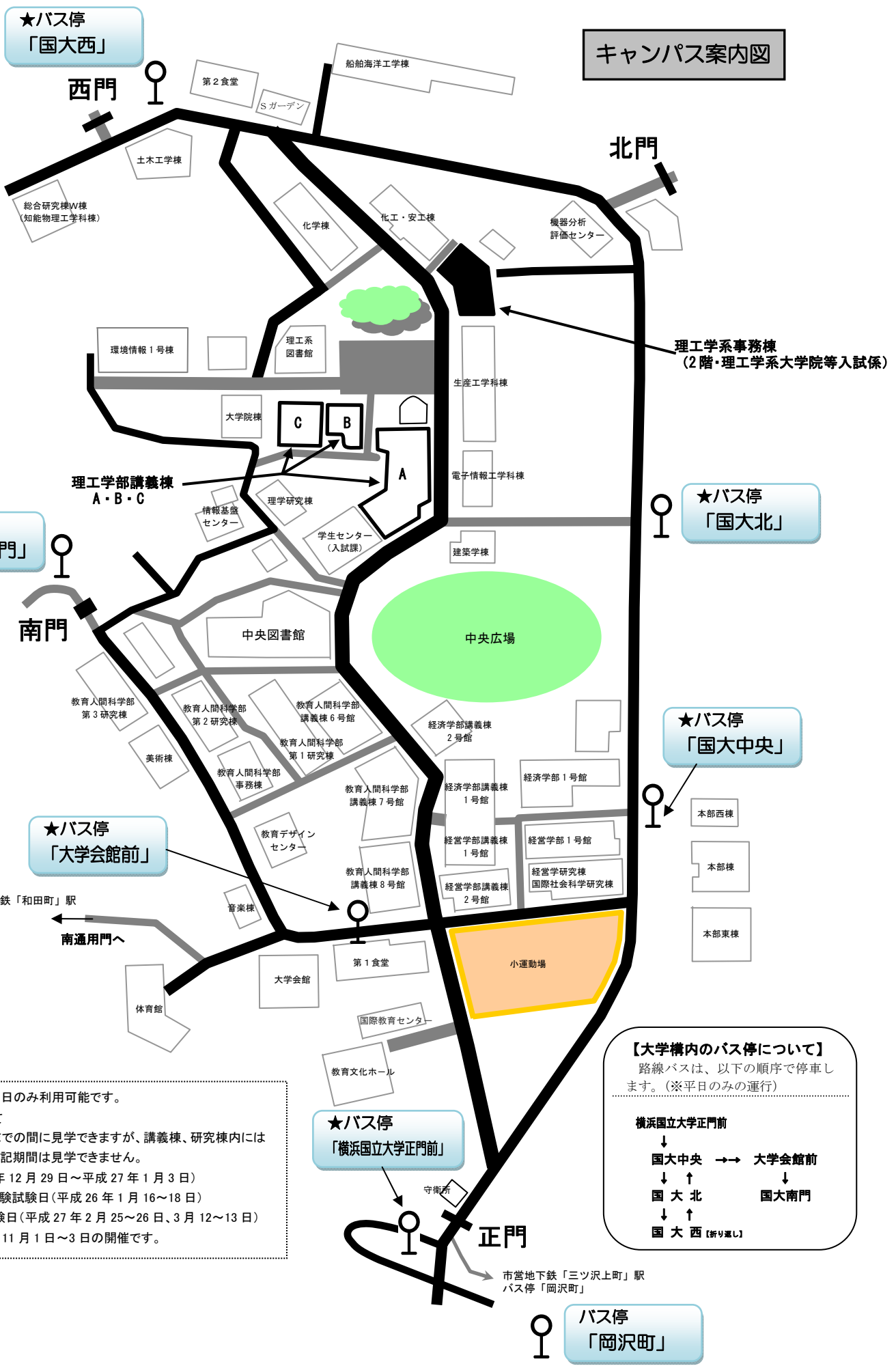


横浜市営バス	【下車停留所】
⑪番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
⑭番乗口 【急行】 329 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
⑭番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	又は
相鉄バス	「国大北」(平日のみ)
⑩番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」	「国大西」(平日のみ)
⑩番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	
神奈中バス	
⑭番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

※「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。（平日のみ利用可能）

- 注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認して下さい。
- 注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。
- 注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。
- 注 4 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないことがありますので、試験当日は①又は②による徒歩を奨励します。

# キャンパス案内図



理工学系事務棟  
(2階・理工学系大学院等入試係)

★バス停  
「国大北」

★バス停  
「国大中央」

- 本西棟
- 本棟
- 本東棟

**【大学構内のバス停について】**  
 路線バスは、以下の順序で停車します。(※平日のみの運行)

```

  横浜国立大学正門前
  ↓
  国大中央 →→→ 大学会館前
  ↓ ↑
  国大北         ↓
  ↓             国大南門
  ↓             ↓
  国大西 [折り返し]
  
```

※★印のバス停は、平日のみ利用可能です。  
 ※構内の見学について  
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。また、下記期間は見学できません。  
 ・年末年始(平成26年12月29日～平成27年1月3日)  
 ・大学入試センター試験試験日(平成26年1月16～18日)  
 ・個別学力検査等試験日(平成27年2月25～26日、3月12～13日)  
 ※大学祭(常盤祭)は、11月1日～3日の開催です。

バス停  
「岡沢町」

### 不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

- ・ 横浜国立大学 ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/ynu/>



<お問い合わせ先>

**横浜国立大学理工学系大学院等入試係**

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

[窓口取扱時間] 8:30~12:45, 13:45~17:00 (平日のみ)

TEL : 045-339-3821, 3822

FAX : 045-339-3819

E-Mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に  
原則として志願者本人が問い合わせてください。